

九大附属図書館にある天和2年(1682)「御国絵図」について

宮崎, 克則
九州大学総合研究博物館 : 准教授

<https://hdl.handle.net/2324/15633>

出版情報 : 貴重文物講習会. 25, 2009-10-23. 九州大学附属図書館
バージョン :
権利関係 :

九大付属図書館にある 天和2年(1682)「御国絵図」について

(680-オ-4) (縦369×横441cm)

宮崎克則(総合研究博物館)

1. 国絵図

慶長9年(1604) 正保1年(1644) 元禄10年(1697) 天保10年(1835)
幕府提出の国絵図 天保分を除き多く消失。大名家に控図あり。

2. 天和2年「御国絵図」の貼り紙

「貼り紙1」「貼り紙2」を読む。

「貼り紙1」から、「江府御屋敷」

「宝暦十三年」(1763)

「貼り紙2」から、「出雲大社教福岡分口」「大正十三年七月」

江戸後期、出雲国造として古い伝統を持つ広瀬家は、出雲大社の九州布教を担当し、長崎で福岡藩家老吉田家と交流した。明治に入り、広瀬玄銀は吉田一畝の次女と結婚。明治20年、荒戸通り町71番地(現 中央区大手門2丁目)吉田家屋敷の払い下げを受け、明治30年に大社教福岡分院を設立。

明治35年～大正6年、分院内に(私立)福岡図書館の開設 7万冊超

(大正6年 福岡県立図書館の設置)

大正14年(玄銀死去10年祭) 1万冊余を九州帝国大学付属図書館へ寄託

『広瀬文庫仮目録』(ガリ版)の作成 広瀬家へも贈呈 「御国絵図 一」

寄託の契約書は、九帝大総長と広瀬家の間で交わされ、「広瀬文庫」と称すること、「保管ニ関シテハ本学附属図書館長其責ニ任ス」とある。

(現在、保存書庫680番台の和書・漢籍に「福岡図書館」「広瀬文庫」の印、バラバラ)

昭和23.24年 計30万円で購入 九大の所有

3. 筑前国絵図の比較

正保国絵図 (366×404)

福岡市博物館「黒田家資料」

天和国絵図 (369×441)

九大図書館

元禄国絵図 (340.2×407.8)

福岡市博物館「黒田家資料」

参考：宮崎克則「九大附属図書館にある天和2年『御国絵図』の来歴について」(『市史研究 ふくおか』2号、2007)



天和二年
 前國修志
 江戸府内蔵五古修志心室
 曆十三年乙未年
 月四年甲子
 画續山修志

貼り紙1

天和二年製
 前國四曆詳圖
 出雲大社教福園
 大正十三年七月

貼り紙2